

オオクボシダ *Micropolypodium okuboi* (Yatabe) Hayata

【評価理由】

個体数階級 2、集団数階級 2、生育環境階級 3、人為圧階級 2、固有性階級 2、総点 11。深山性の小形の植物で、伐採等の影響を受けやすく、採取圧もある。

【形態】

小型の常緑性のシダ植物。根茎は短く斜上し、数枚の葉を放射状につける。葉は短い柄があり、葉身は狭披針形から線形、長さ 5cm 程度かそれ以下のものが多く、羽状に深裂する。側裂片は長楕円形、両面に黒褐色～赤褐色のやや硬い開出毛をつける。胞子のう群は楕円形で、裂片の基部近くに 1 個ずつ並ぶ。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：2 豊根（芹沢 87920, 2012-9-22）、4 津具（芹沢 83053, 2008-8-24）、6 設楽西部（芹沢 82597, 2007-10-6）、8 鳳来北東部（村松正雄 24733, 2009-5-2）。西：5 稲武（村松正雄 17225, 1997-10-11）、21 下山（芹沢 84749, 2009-8-23）、28 額田（千賀敏之 s.n., 2010-12-6）、29 岡崎北部（高島貴聖 4, 2008-6-18）。尾：37a 瀬戸（村松正雄 21397, 2002-8-17）。1 富山、3 東栄にもあるという（小林 2006）。

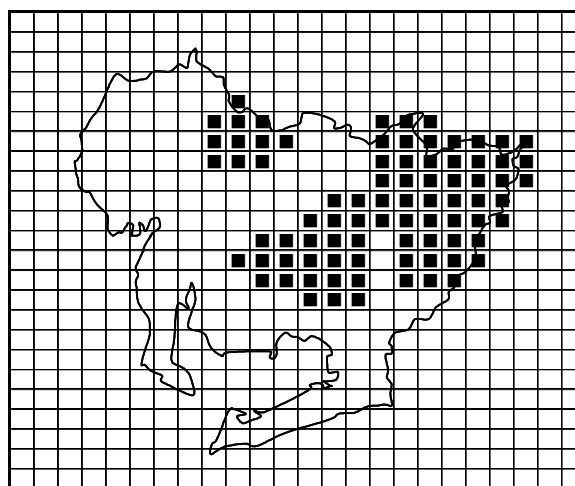
【国内の分布】

本州（関東地方以西）、四国、九州の山地に分布する。

【世界の分布】

日本、台湾、海南島。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

山地の沢沿いの陰湿な岩上に、コケにまじって生育していることが多い。樹幹に着生することもある。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林	○			
草・岩				
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

小形の植物であるため、個体数階級は 2 でも、実際の量はごく僅かである。尾張では 1 カ所にわずかに生育しているだけで、絶滅寸前であり、特に保護上の重要性が高い。沢沿いの森林の伐採によって生育できる環境が減少している上、マニアに採取されることも多い。

【保全上の留意点】

他の着生シダ植物と同様、空中湿度の高い環境を保全しなければ、本種の存続は望めない。その一方で、マニアの採取を防止するため、分布情報の公表に際し慎重な配慮が必要である。

【特記事項】

シダ植物の中では、最も小さいものの一つである。

【引用文献】

小林元男. 2006. 北設楽の植物 p.119. 愛知県林業試験研究推進協議会, 新城.

【関連文献】

保シダ p.167, 平シダ p.281, 学シダⅡ p.468.
倉田 悟・中池敏之(編). 1981. 日本のシダ植物図鑑 2: 630-634. 東京大学出版会, 東京.